

村上英子、町田ひろ子両氏が対談 「インテリアは生き方」



一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会（iicor）会長の

村上英子氏と町田ひろ子氏が4月27日、東京都渋谷区の東京ウイメンズプラザ・ホールで「過去と未来 インテリアは生き方そのもの」と題したトークショーを開いた。

インテリアコーディネーター（IC）の草分けの両氏が対談するのは初めて、昭和から平成にわたるトークショーを開いた村上氏（左）と町田氏

るインテリアデザインに関する話に参加者約250人が聞き入った。

村上氏は、戦後、パシフィックハウス・ジャパニに入社し、ホテルオークラのインテリアなどを担当した。その後、三井ホームを経て、三井デザイン常務、顧問を歴任した。町田氏は、ス

イスで家具デザインを研究し、その後、米ポストンで環境デザインを学んだ。帰国後は輸入住宅のデザインに関わり、1978年に「町田ひろ子インテリアコーディネーター

アカデミー」を設立し、以降、ICの育成にあたり、ICの今後について村上氏は「ICのレベルは上がっているが、ユーザーとの距離は逆に広がっているのではないかと指摘し、「営業する能力が大切」と話した。

町田氏は「暮らしの視線を持つことが重要。家を建てた後のリフォームに注目したい。災害時に対応した提案など、社会に役立てる仕事を指してほしい」と話した。

78年に「町田ひろ子インテリアコーディネーター